事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和７年３ 月１日
１．初期支援（はじめのかかわり）	ﾒﾝﾊﾞｰ	亘、矢島、三ッ森、大野、ススマ、戸部、樋口、小井田、藤森、斉藤、大和、栗原

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	5	6			11 人

前回の改善計画
新規利用者の個人データを提示し事前に職員に情報を送り、初期支援に関しては、利用開始前に口頭や連絡ノートなどで情報を送り、見たらサインするシステムを継続する。情報が不充分なことは前提なので関わりながら新しい情報を得ていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
新規利用者の個人データを提示し事前に職員に情報を送っている。初期支援に関しては、利用開始前に口頭や連絡ノートなどでできる限りの情報を送り支援のポイントを伝えている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	3	7	1		11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	3	7			10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	4	7			11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	4	7			11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

新しい利用者の方と信頼関係を作ることができた。
利用者様の情報は事前に共有できている。3
基本情報やサマリー、連絡ノートで本人の状態を確認できた。3
ミーティングなどで連絡し合っている
連絡ノートが大いに活用されている。
慣れていない利用者への声かけや気遣いを職員全体で気にかけ声かけしている。　2
管理者が家族本人と支援内容を協議できていて、事前に職員に伝達されている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

ショート利用者の夜間の情報収集→施設の泊まりを利用したことのない利用者を受け入れるので情報がない。
個々に個人データや連絡ノートを確認するだけでは、細かな情報や、退院後に変更になっている点など伝わりづらい。→ミーティング時間の確保が不十分。
訪問や通いでの声かけや気遣いが難しい。利用者の不安な気持ちに寄り添うことが難しい。

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）

新規利用者の個人データを提示し事前に職員に情報を送り、初期支援に関しては、利用開始前に口頭や連絡ノートなどで情報を送り、見たらサインするシステムを継続する。情報が不充分なことは前提なので関わりながら新しい情報を得ていく。現場で知りたい項目をあらかじめ伝えて情報を得ていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和７年　３ 月 １日
２．「～したい」の実現（自己実現の尊重）	ﾒﾝﾊﾞｰ	亘、矢島、三ッ森、大野、ススマ、戸部、樋口、小井田、藤森、斉藤、大和、栗原

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	5	5	1		11 人

前回の改善計画
状態変化の際にケアポイントを変更することを相談しながら行う。

前回の改善計画に対する取組み結果
状態の変化を職員同士で共有はし、目標の見直しに努めていたが、タイムリーな変更は追いつかなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	3	5	3		11
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	3	5	3		11
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	3	3	5		11
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？	3	5	3		11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

本人の状況に合わせて相談しながらケアポイントの変更を行えた。２
関わった内容をタブレットに入力し当日関わらなかった職員にも情報の共有ができた。
本人の気持ちに寄り添い生活ができるように支援した。
普通の会話の中で、日常生活や困っていることなどを聞くよう心掛けている。
状態の変化の様子を会議や日常で職員間で共有出来ている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

本人の目標がはっきりしていない。2→認知症なので、明確な会話が成り立たないケースは多々ある。～したいが引き出せない。
職員間では意見交換しているが、ミーティングでは発言していない。→職員間で～したいの実現の尊重に認識の違いがある。
本人の～したいの目標はわかっても、それを目指したかかわりができなかった。→業務に追われ、急ぎではないとわかると後回しにしていた。
ケアポイントが変更になることを職員全員で共有できていないと思う。
日々の変化によってかかわり方が難しい。
ゴールに向けての関わり方ができていない。→本人の目標がすべて把握できていない

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）

状態変化の際にケアポイントをタイムリーに変更することを意識し、職員間で相談しながら行う。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和７年　３ 月 １日
３．日常生活の支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	亘、矢島、三ッ森、大野、ススマ、戸部、樋口、小井田、藤森、斉藤、大和、栗原

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	7	4			11

前回の改善計画
利用者の変化を職員間で共有し支援につなげる。

前回の改善計画に対する取組み結果
情報を共有し、情報を生かして支援出来ていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか？	2	2	6	1	11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	5	6			11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	5	3	3		11
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	5	6			11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	5	5	1		11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

利用者の変化は職員がよく気づいて連絡ノートや口頭で共有できている。4
不穏になってしまった方へどのような対応を取りどのような結果だったか共有しその後の支援につなげている。2
本人の状況に合わせた基礎的な介護はできている　2
利用者の状況（情緒面、健康面）に応じて対応することができた。2

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

以前の暮らし方を 10 個以上把握できていない。3　背景などを知って理解できていない。
以前の暮らしの情報が少なすぎる。もっと収集した方が良い。 2
個人的に聞いている職員もいるが言語化できていない。→記録に残していない
家族から聞ける情報はほんの一部である。
物理的な問題で解決に至れないこともある→本人だけでなく家族の理解がないと支援につなげられないから
記憶力に限界があり忘れることもある。
できていると思っているが思い込みで動いていることも多いのでは→利用者の反応が悪かった時にそう感じた。

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）

利用者の変化を職員間で共有し支援につなげる。（情報の共有）

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和７年　３ 月 １日
４．地域での暮らしの支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	亘、矢島、三ッ森、大野、ススマ、戸部、樋口、小井田、藤森、斉藤、大和、栗原

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	4	6	1		11

前回の改善計画
今ある資源の有効性を見直し、連携を継続していく。 家族より、自宅での過ごし方を聞いたら情報を職員間で共有する。

前回の改善計画に対する取組み結果
利用者ごとに地域資源のニーズや必要性が違い、全員出来ていなくてもよいと思う。必要な利用者には地域連携できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	3	4	3		10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	3	7			10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	4	4	2		10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	2	6	3		11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

自宅での様子は常に家族と連絡し、情報を共有している。2
地域資源を活用して支援することができた。
本人がどのように過ごしているか把握（送迎時の情報交換、連絡帳、LINE　本人に聞くなど）するようにしている。
在宅介護が限界になっている方でも地域や職員などの協力で何とか生活を維持することができている。2
家族からの情報はタブレットに入力し共有している。
地域との連携はできている。2
地域の人を巻き込み会議を開催することができた。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

地域資源の把握が出来ていない。→個人情報もありあまり根掘り葉掘り聞けない
民生委員の把握ができない。→自分から情報を取りに行っていない
今までの生活、人間関係について深く知らない。チーム全体として一人一人とコミュニケーションが取れていないため、深くまで情報を引き出せていない
共有出来ている時と出来ていない時がある。→情報量が多いと覚えきれなくなってしまう。

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）

今ある資源の有効性を見直し、連携を継続していく。
家族より、自宅での過ごし方を聞いたら情報を職員間で共有する（タブレット記録、連絡ノートに記入）。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和７年　３ 月 １日
５．多機能性ある柔軟な支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	亘、矢島、三ッ森、大野、ススマ、戸部、樋口、小井田、藤森、斉藤、大和、栗原

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	5	5	1		11

前回の改善計画
「多機能性」「地域連携」を意識して支援していく。 ニーズと現場での状況をすり合わせしながら調整し支援していく。

前回の改善計画に対する取組み結果
月 200 回以上の訪問により訪問体制強化加算が継続できている。 地域連携を意識した支援ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	3	4	2		9
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	6	3	2		11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	6	5			11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	6	4			10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

利用者の住む地域の方々に声かけし、情報を共有していただき見守っていただいている　2
地域の資源を使って柔軟な支援を行っている。
地域の人を巻き込み会議を開催することができた。
職員間でもその日その都度変わったことがあれば情報共有して対応している。2
表情や会話の中から変化を把握している。
本人の状態ニーズに合わせた柔軟な支援ができている。（通い訪問　急な泊まりなど）　2
ケアマネと連携しながら利用者への柔軟な支援が行えた。
利用者の状態に合わせた支援はよくできている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

毎日利用する人が多すぎる。→独居が多く喜楽以外の支援者がいない。
時間がなく、地域連携は十分にできない。
通いと訪問に関しては本人のニーズだけで決められない点がある。
外部との接点が少ない。

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）

「多機能性」「地域連携」を意識して支援していく。
ニーズと現場での状況をすり合わせしながら調整し支援をしていく。
地域連携が必要な利用者を発掘していく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和７年　３ 月 １日
６．連携・協働	ﾒﾝﾊﾞｰ	亘、矢島、三ッ森、大野、ススマ、戸部、樋口、小井田、藤森、斉藤、大和、栗原

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	5	6			11

前回の改善計画
連携・協働の内容をタブレットや連絡ノートに記入して共有する。

前回の改善計画に対する取組み結果
連携・協働などは職員に関心を持ってもらえるように記録・会議・連絡ノートを通じて報告している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	4	3			7
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	4	3			7
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	3	2	1	1	7
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1	2		4	7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

タブレットや連絡ノートによっていつでも情報を得ることができている。3
利用者の友達や近所の方が訪れてくれる。
地域の方を受け入れ契約者ではない方の爪切りを行った。3
会議後に支援が迅速にできている。
町内会の会議に参加したり近所の店と連携をとっている。2
入院先の病院や今後利用する施設からの情報はノートやタブレットの記録で共有できている

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

地域住民の事業所訪問は出来ていない。(勝手にいろいろな人が来たら怖い)
感染症対策のため実施されにくい 2
地域の活動やイベントへの参加、子どもたちとの交流はできていない。
コロナ前の催しをやらなくなった。

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）

連携・協働の内容をタブレットや連絡ノートに記入して共有する。
興味が持てるよう、話題にして提案や意見をどんどん聞いていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和７年　３ 月 １日
７．運営	ﾒﾝﾊﾞｰ	亘、矢島、三ッ森、大野、ススマ、戸部、樋口、小井田、藤森、斉藤、大和、栗原

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	3	7	1		11

前回の改善計画
提案や意見を職員会議などで自由に発言できる雰囲気作り。 私語を少なくし利用者中心の会話をすることを継続していく。 意見、苦情などを職員間で共有し改善につなげる。

前回の改善計画に対する取組み結果
会議では自由な発言を遮ることなく大切にしている。会議や連絡ノートで意見や苦情を職員間で共有している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	4	5	1		10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	4	6			10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	4	5			9
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	3	5	1		9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

会議や日常でも、自分の思いは自由に発言できている。3
提案や意見など会議の前に話せる環境を作ってもらっている。
意見や苦情があった時は皆で話し合い意見を出し合い業務に反映している。
意見や苦情は真摯に受け止め相手の気持ちに寄り添った対応がなされている。
私語を話す職員が減ってきていて会議がスムーズに進んでいる。
私語はほぼ話さず業務に集中できた。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

私語がなくなることはない。少しは楽しく会話ができないと良くないと思う。
大声での私語が多い。仕事に対しての意識が低い。周りが注意しない。
事業所のあり方について思うところはあるが、しっかりと理解できていないため言いだせない。
意見や苦情を運営に反映するのは全部はできていない。

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）

提案や意見を職員会議などで自由に発言できる雰囲気作りの継続。
職員同士の私語（個人的な会話）を少なくし利用者中心の会話をすることを継続していく。
意見、苦情などを職員間で共有し改善につなげる。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和７年　３ 月 １日
８．質を向上するための取組み	ﾒﾝﾊﾞｰ	亘、矢島、三ッ森、大野、ススマ、戸部、樋口、小井田、藤森、斉藤、大和、栗原

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	4	7			11

前回の改善計画
事故発生時は、事故報告書をもとにリスクについて検討し再発を防いでいく。 ヒヤリハットがあったら、朝のミーティングで共有し注意を促したり、連絡ノートに記入する。 職員数に余裕があれば、外部の研修にも参加できる体制を作る。
前回の改善計画に対する取組み結果
職員会議で事故報告の詳細を会議や連絡ノートで職員間で共有している。 外部の研修はなかなかできないが、職員会議で毎回学習している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	4	4	2	1	11
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	3	3	2	11
③	地域連絡会に参加していますか	3	5	1	1	10
④	リスクマネジメントに取組んでいますか	5	4		1	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
事故報告書の共有がされていて再発防止に努めている。5 同じ事故を繰り返さないように対応できた。 職員会議で職場内研修をしている。 リスクマネジメントについては事故の情報を共有し、再発防止を図っている。 研修に参加しスキルアップにつなげた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
資格取得やスキルアップへのアプローチや情報提供が少ない。2 余裕がないので外部の研修などはあまりない。3	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
事故、ヒヤリハットは、ミーティングで注意喚起したり連絡ノートに記入する。事故報告書をもとにリスクについて検討し再発を防いでいく。 職員数に余裕があれば、外部の研修にも参加できる体制を作る。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和７年　３ 月 １日
９．人権・プライバシー	ﾒﾝﾊﾞｰ	亘、矢島、三ッ森、大野、ススマ、戸部、樋口、小井田、藤森、斉藤、大和、栗原

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	3	5	3		11

前回の改善計画
職員の声の大きさ、トーン、話す距離にも配慮する。 利用者の尊厳に配慮し、頻回に注意を喚起していく。

前回の改善計画に対する取組み結果
上記の配慮について、できている時とできていない時があった。 職員の声のトーンが大きくならないようしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	9	3			11
②	虐待は行われていない	9	2			11
③	プライバシーが守られている	2	7	1		10
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	2	1	2	8
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	3	2		9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
身体拘束、虐待は行われていない。3 声のトーン、話す距離に注意できた。 大声で騒ぐことはしていない。 気にかけ配慮し適切な支援ができている。 他の利用者に個人を特定されないように、イニシャルで話したり目配りしながら伝えている。 会議で学習している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
会話の声が大きく、個人情報の部分が他の利用者に聞こえてしまっている。2 声のトーンは利用者に合わせ配慮していかなければならない。2→　各自の自覚が足りていない。 利用者の個人情報（送迎・排泄等）が誰でも見られる場所に置いてある。→慣れてしまい直そうとしない。実際使いやすい。 声が大きくなっていることはある。楽しく仕事していると多少そうなることもある。 研修で行った利用者のプライバシーについて配慮がほとんどできなかった。研修の内容をすぐに生かそうとする風土がない。	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
職員の声の大きさ、トーン、話す距離にも配慮する。 利用者の尊厳に配慮し、頻回に注意を喚起していく。	